



林野庁  
東北森林管理局  
津軽白神森林生態系  
保全センター  
平成 30 年 10 月 17 日  
No.148

## 自然再生活動を実施しました

9月15日(土)、当センターの自然再生活動を通称白神ライン(青森県道28号岩崎西目屋弘前線)に隣接する西目屋村暗門の鬼川辺国有林内で実施しました。この活動は白神山地世界遺産地域周辺のスギ人工林を、元々の植生であるブナ等広葉樹林に戻していくため、自然再生活動として広葉樹苗木の採取や植付けなどを実施するもので、活動終了後は、周辺のブナ林の散策を行っています。今回の参加者は、採取した大きめの稚樹をスコップで自ら穴を掘ってそのまま植え込み、小さめの稚樹は自ら作成したカミネッコンに苗木と土を入れ林内の安定した場所に置くといった作業を実施・体験しました。

活動箇所は伐採の際に発生した切株や枝条が多くありましたが、参加者は隣接する広葉樹林から採取したミズナラやブナの稚樹をうまくスコップで穴を掘って植え込んでいました。

息の長い森づくりとなる自然再生の作業は、歩行に注意すれば職員とともに気楽に実施できる内容となっていますので、何度でも参加いただけるものと思っています。

また、周辺のブナ林散策は、暗門溪谷に隣接する世界遺産の径「ブナ林散策道」において実施し、大きなブナの迫力を感じるとともに、白神山地天然林の魅力を感じとっていたことと思います。

この活動は多くの人の参加を得ながら地道に行っていきたいと考えております。皆様のご参加をお待ちしています。(吉川)



植え付け箇所



カミネッコンに植え付け



ブナ林散策道を散策中



## 小学生を対象とした林業体験学習を行いました

9月6日(木)・13日(木)の2日間、当センターと津軽森林管理署では、青森県鯉ヶ沢町内の小学生を対象に林業体験学習(森林教室)を実施しました。この森林教室は林業体験を通じ、地元小学生が地域の産業である林業や白神山地世界遺産について理解を深めることを目的として、舞戸小学校4年生ならびに西海小学校5年生児童に対し毎年実施しています。

両日も、午前中は同町矢倉山国有林において育樹体験と矢倉山天然スギの見学を行いました。児童たちはスギの人工林で鋸を使って除伐、枝打ちなどの育樹作業を体験する中で、鋸の使い方を会得したようでした。また、北限の天然スギでは、その大きさに驚きながらも、周辺の木の直径を実際に計測して目慣らししながら、巨大なスギの直径や樹高を予測してみました。正解は直径約2m、樹高32m。

この後は町の総合案内休憩所「くろもり館」へ移動して昼食を取り、午後からは白神の森遊山道の散策を行いました。この森は白神山地世界遺産地域同様の森林景観を保っており、また、下流域の田畑に水を供給する水源の役割を果たしています。森の沸きつばやブナ等広葉樹の群落を歩き、児童たちはスタッフ(職員)の話聞きながら、木々の実を拾ったりヘビやカエルと遭遇したりと白神の森を楽しんでいました。帰りのバスの中では、白神の森から湧き出る水源が、田畑を潤している様子も学習したところです。

なお、鯉ヶ沢町内の中学1年生も白神の森遊山道を毎年訪れているとのことなので、今日の林業体験をした児童たちが、2年後、さらに森林の大事さを理解してくれることを願いたいと思います。(吉川)



除伐作業の様子



ブナの直径を計測中



熊の爪あとはどこかな？



## 鱒ヶ沢中学校の校外学習にて森林を案内しました

9月19日（水）、白神山地に位置する青森県鱒ヶ沢町の「白神の森」において、青森県鱒ヶ沢中学校の1年生約50名に対し、白神山地と同様な原生林の魅力や森林生態系などを説明しながら林内を案内しました。これは鱒ヶ沢町にある白神の森遊山道「くろもり館」からの依頼に対応したもので、当センターから職員1名と地元案内人の方々併せ4名が校外学習へのガイドを行ったものです。

散策は1時間程度ですが、トチの実を拾ったり、植物の実を観察したり、また、木の樹種を覚えたりと結構いろいろな学習が出来たようでした。また、この森林が、水源として下流域の身近な集落や田畑に水を届けていることも理解できたのではないかと思います。

今回参加の中生徒は、2、3年前に鱒ヶ沢町内の小学生として津軽署と当センターが実施した林業体験学習に参加しており、ある程度森林の魅力を知っていたと考えますが、更に地元の森を訪れ、より地域を好きになってもらえたらと思います。（吉川）



白神山地の魅力を説明



ブナの保水力を説明

## 山での遭遇

山の中で仕事をする機会が多いため、日頃から色々な生物と遭遇します。ニホンカモシカなどの動物やオニヤンマなどの昆虫、色とりどりの花を咲かせる植物など、数多くて名前を覚えられません（すいません、ただの勉強不足です（汗））。その中で、歩いていたり、自動車ですす〜と去って行くへびとも遭遇します。



写真①

ヤマカガシ(遠景)

※注意：4ページ目の右上に写真①より少し寄ったヤマカガシの写真があります。



最近、作業をするため車を降りて、何気なく辺りを見回すと、枯れ木に何か巻き付いている生き物を発見しました。木に巻き付いているので、ヘビ？それもアオダイショウかな？と見に行くと、巻き付いていたのはヤマカガシというヘビでした。

ヤマカガシが木に巻き付いているのを初めて見ましたし、木登りをしないヘビだと思っていたので珍しいと思い写真(写真①、②)を撮ってみました。

このヘビについて、図鑑で調べたところ、水辺が好みでカエル類を主に食べているそうです(確かに見つけたところは、すぐ近くに沢が流れていました)。また、カラフルできれいなので触りたくなると思いますが(そう思わない人の方が多いかも)、このヘビはかなりの猛毒を持った毒ヘビです。毒ヘビで有名なマムシやハブよりも強い毒ですから、決してイタズラしないでください。ご存じの方が多いかもしれませんが、最近まで無毒のヘビだと思われていました(最近とは言っても、1972年頃に毒ヘビと判明したそうです)。

自然界の生物は生きるために特殊能力が隠されていますので、むやみに触れたり採ったりせず、観賞して楽しむことを私はお勧めします。(葛西)



写真②  
ヤマカガシ(近景)

## 白神山地ビジターセンターふれあいデーで「親子木工教室」を開催します

10月20日(土)・21日(日)西目屋村にある、白神山地ビジターセンターで開催される『白神山地ビジターセンター秋のふれあいデー』にて、親子木工教室を行います。

### 【親子木工教室】

開催時間：午前の部 10時30分～11時30分(20組限定)

午後の部 14時～15時(20組限定)

開催場所：1階 工作室

参加対象：小学生の親子

参加費：無料

抽選券配布：午前の部 9時～10時

午後の部 12時30分～13時30分



親子木工教室の様子

〈発行〉津軽白神森林生態系保全センター

〒038-2754 青森県西津軽郡鯨ヶ沢町大字米町 25-2 電話:0173(72)2931 FAX:0173(72)2932

